

俳句の会「芦火」

人生百年時代と言われる現在ですが、健康であってこそその長生きと思います。肉体的な健康はもちろんですが、精神的にも常に前向きに、生き甲斐を感じて過ごしたいものです。

柑芦会会員による俳句の会「芦火」では、前頭葉を刺激し、ボケ防止にも繋がると言われている俳句作りを通じて、精神的な健康増進を目指しています。

皆さんも一緒に俳句作りをしませんか。

俳句の会「芦火」の概要を以下に記しますので是非ご一読ください。

<俳句の会「芦火」概要>

- ・会員は柑芦会会員
- ・現在の会員は大学3期卒から25期卒の17名
- ・昭和38年（1963年）結成・・・約60年の歴史
- ・会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
- ・創刊以降毎月発刊。令和4年（2022年）6月に第700号発刊。
- ・50号ごとに句誌を発刊。令和4年5月に「芦火第14号句集」発刊
- ・創刊時からの延べ会員数、71名（高商32人、高商教授1人、大学38人）

<作句から「柑蘆同人誌・芦火」に掲載されるまでの流れ>

- ・7句作句し、編集者に毎月15日必着で郵送します⇒出句
- ・同時に、前月会員が出句した句の中から秀句と思われる句を10句選んで出句7句と同時に編集者に郵送します。⇒選句
- ・編集者は、出句7句と選句10句を取り纏め、毎月20日前後に会員宛てに郵送します。

「会員からの7句出句と10句選句を取り纏め20日前後に会員宛て返送」

<編集者・コンタクト先&会費、他>

- ・編集者：山下 勝（大学14期）
メールアドレス：yama723@nifty.com／携帯：090-1349-6727
- ・その他のコンタクト先：
穂永 千秋（大学17期）
メールアドレス：suishin2010@dream.ocn.ne.jp／携帯：090-9887-2513
平林 義康（大学20期）
メールアドレス：hirabayashi9497@yahoo.co.jp／携帯：090-8525-7293
- ・会費：年会費1万円

☆次ページには今月号（七月号、第701号）の表紙および前月の投句の中から会員の互選によって選ばれた秀句、並びにその他トピックスを掲載しますので、こちらも是非ご覧ください。

柑蘆同人誌「芦火」第701号（七月号）のトピックス

☆表紙



- ・表紙は「泉」あるいは「清水」と言われるもので俳句では夏の季語になっています。来月号にはこの季語を織り込んだ句を1句を必ず出句することになります（全部で7句です。なのでその他の6句は他の季語でOKです）。

☆表紙の夏の季語「泉」あるいは「清水」を含んだ俳句を作句することを「兼題（けんだい）で作句する」といいます。言わば、次月の宿題です。

季語「泉」、「清水」を含んだ有名俳人の句を以下に紹介します（全6句）。

- ・島人の永遠に掬むべき泉かな／上野泰
- ・大富士の愛の如くに大泉／勝又一透
- ・淋しさの底より湧ける泉かな／長谷川權
- ・旅なれや牛が飲みたる清水掬む／石田波郷
- ・西行の詠みたる清水掬めど澄む／森田峠
- ・城跡や古井の清水のまつ間はん／芭蕉

☆前月出句の内、互選の結果、得点の多かった秀句（5人以上の会員が秀句と認めた句）を以下に記します（全8句）。

- ・炊き立ての湯気も馳走や豆ご飯／温州
- ・教科書の子規は横顔鰻焼く／穂心
- ・喧騒の去りし公園花は葉に／温州

- ・耳鳴りは老いの道連れ夏兆す／恵吾
- ・声高に過ぐる自転車子供の日／恵吾
- ・血管の浮き出たる手や啄木忌／草炎
- ・山裾を走る列車や花蜜柑／温州
- ・菖蒲湯の移り香残る脱衣場／穂心

☆以上は例月「芦火」に掲載されますが、これ以外にその時々には会員よる随筆も掲載されます。

今月号では、この度「芦火」が創刊以来700号を発刊できたこと、第十四号句集が編纂されたことに対して、会員各位より編集者に対する感謝の言葉と同時に、60年も間脈々と受け継がれてきた「芦火」の会に参画出来て幸せである旨の投稿も目立ちました。

☆以下の写真は、カメラを趣味とされている会員が日々の散歩の途中見つけた花や木を解説されるとともにこれらの花や木に因んで句を作句されたり俳人の句を紹介されたりしています（「散歩道の自然～写真解説」）。

因みに花々の名前は右上から左回りに桐の花、泰山木（タイサンボク）の花、えごの花あるいはえごの木、榊の花（サカキノハナ）。すべて夏の季語です。



☆これら以外にも毎月興味のある随筆が投稿されますので、都度ご紹介したいと思います。

以上